

目指せ! 事故ゼロ。なくせ! 労災。

— 工事安全対策講習会 in 武雄 —

工事の事故防止及び安全対策を目的に11月18日(火)武雄温泉ハイツで実施した、工事安全対策講習会には、請負業者約40社に事務所職員・講師を含め約80名が参加しました。
佐賀労働基準局・武雄警察署・技術管理課より講師を招き講話を、請負業者より工事現場における安全対策(2事例)の紹介を行いました。

平成26年度 武雄河川事務所 工事安全対策講習会

◇ストップ! 労災!! SAGA

佐賀労働局 西村主任産業安全対策官より、佐賀県における建設業労働災害の現況等についての説明を受けました。



H25年、県内の労働災害死傷者数は、1129人です。
そのうち、建設業界の労働災害は、208人で対前年比+48人(+30%)と増加しています。
安全第一の考えを基本に、労働災害防止活動の推進を、・・・。

◇最近の交通情勢と事故防止対策のポイント

武雄警察署 藤本交通課長より、佐賀県における交通事故の現況等についての説明を受けました。



① 3秒間の車間距離

ブレーキをかけて止まるまで	3秒での車間キリ(安全な車間キリ)
40km/h ⇒ 22m	33.3m
50km/h ⇒ 32m	41.7m
60km/h ⇒ 44m	50.1m

※前車との距離は電柱等を目標に確認!

人口10万人当たりの人身事故は、佐賀県が2年連続、全国ワースト1位、残念です。

その約4割が追突事故!

その防止のために「みつつの3」運動を!

- ① 3秒間の車間距離
- ② 3秒、30m (方向指示器)
- ③ 3分前出発「あせらず・急がず・安全確認」

③ 3分前の出発

・あせり運転は、スピード違反、一時停止違反等のほか危険が潜む裏道(近道)通行となりがちです。

「あせらず」「急がず」「安全確認」



◇工事事故の現況と安全対策について

技術管理課 安部課長補佐より、工事事故調査委員会の事例を基に、**共有資料では見えない、事故原因と再発防止策**について、現場当事者として経験された貴重な説明を受けました。



現場監督者として経験した3つの事故事例を基に、話すことは以下の点です。

- ①〇〇の工事事故と原因と再発防止
- ②工事事故の影響
- ③工事事故調査委員会での議論のポイント

事故防止の要点は以下の点です。

- ◎現場の危険条件は、日々変化している。
- ◎代理人への作業情報の報告
- ◎あわてるな、焦りは禁物

◇現場における安全対策（事例紹介）①

(株)山崎建設 安井現場代理人より、軟弱地場作業における安全対策についての事例紹介を受けました。



牛津川における樋管改築工事で、軟弱地盤である当地区は、地盤改良を伴う作業であり、以下の点に注意を払い作業を行っています。

- ◎大型重機使用における、転倒や不測の事態に備えた対応
- ◎川裏高水敷での施工に伴う悪水や油膜等の流出防止への配慮

◇現場における安全対策（事例紹介）②

(株)政工務店 辻現場代理人より、伐竹作業や情報化施工におけるNET I S工法採用による、危険軽減についての事例紹介を受けました。



伐竹作業において、NET I S 技術「ブッシュチョッパー&アースシェイパー」を採用したことにより、ほとんどが機械作業で実施、人力作業を要していた従来作業と比較して、労働災害の危険が軽減しました。

編集後記：工事事故及び労働災害、“ゼロ”を目指して！

今回の「**工事安全対策講習会**」は、これから佳境を迎える工事現場の「**工事事故防止及び安全対策**」を目的に実施しました。説明をして頂いた関係者及び各現場の方々に深く感謝いたします。

なお、諸事情(入院中)につき、今回の講習会に出席できなかったのですが、忙中の折、**準備・運営等にご尽力を頂いた、皆様**に心より感謝致します。

事務局責任者(F氏)談